

評価計画・評価から評定への総括方法

令和7年度
上小岩第二小学校

指導要録は1年間の学習指導の過程や成果などを要約して記録する物である。「児童指導要録の様式および取扱い」（東京都教育委員会平成22年）及び、評価ごとに作成されている評価規準をもとに効果的な評価をする。
評価の記入の仕方および評価から評定への基準は以下の基準を基にする。

◎観点別学習状況について…学習指導要領の目標に照らして、観点ごとに評価する。

- A（十分満足できると判断されるもの。90%以上をA）
B（おおむね満足できると判断されるもの。65%～89%をB）
C（努力を要すると判断されるもの。上記未満）

◎評定について…上記の観点別評価を基に総括的に評価する。

- 3（十分満足できると判断されるもの。）
2（おおむね満足できると判断されるもの。）
1（努力を要すると判断されるもの。）

〈評価から評定への基準〉

評定	判定基準					
3	AAA	AAB				
2	ABB	BBB	ABC	AAC	ACC	BBC
1	BCC	CCC				

◎総合的な学習の時間の記録

学習活動	観点	評価
年間に行った学習活動を記入する。	内容に照らした評価の観点を記入する。	左記の観点のうち、児童の学習状況の顕著な特徴を記入する。 また、児童にどのような力がついたかを記入する。

◎特別活動の記録→各内容毎に十分満足されと判断される場合○を記入する。

◎行動の記録→各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、その他学校生活全体にわたって認められる児童の行動について、平成27年度に学力向上部から提案された評価規準を参考に、各項目毎に十分満足されと判断される場合には○を記入する。

◎総合所見および指導上参考となる諸事情

以下の順で記入していくものとする。

- ①学習の所見 ②生活・行動面の所見 ③道徳に関する所見 ④外国語活動の所見（3，4年）
⑤読書科の所見 ⑥その他（表彰、通級、巡回、日本語指導など）

★児童の優れている点や長所、進歩の状況などを挙げるのが基本となる。

★学級・学年などの集団の中での相対的な位置づけに関する情報も必要に応じて記入する。

★通級・巡回の指導を受けている児童については、通級・巡回による指導の授業時数、指導期間、指導内容や結果等について記入する。